

川口市立医療センター広報紙

はな みず き
花水木

特集

2021.11.1 Vol. **52**

上手な医療のかかり方



撮影場所：グリーンセンター
(2020年12月撮影)



川口市立医療センター「みみたーず」
イメージキャラクター
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

母乳外来が有償になりました

母乳外来とは、助産師が母乳関連のサポートをする外来です。当院では、平成12年に母乳外来を開設しました。助産師が、実際の授乳の様子を見ながら、母乳育児に関する助言やケアを丁寧に行っています。正しい授乳の仕方など母乳に関する知識を身に付けることで、赤ちゃんとともに母親も成長できる貴重な機会になります。



母乳外来は、これまで無償で行っていましたが、よりきめ細かな支援の提供を目的に、10月から有償化し3,000円となりました。当院には40人近い助産師が在籍しており、妊娠から育児まで切れ目のない手厚いサポートを行っています。現在は、国際認定ラクテーション・コンサルタント(IBCLC:母乳育児がうまくいくための一定水準以上の支援をするスペシャリスト)に認定された助産師もいますので、安心してご来院ください。

入院中は、助産師がそばにいて母乳育児の支援が受けられますが、退院してからが子育ての本番です。ネットに氾濫する情報では、いろいろな不安や疑問を解消できないこともあります。そんな時こそ、母乳外来を利用し悩みを相談してください。入院中に会った助産師のアドバイスが受けられます。

現在は、予約制で毎週金曜日、当院でお産した方がみ対象ですが、将来は当院以外でお産した方の母乳育児の支援もできたらと考えています。じっくり話を聞き、不安いっぱいだった母親が笑顔で帰れる、そんな母乳外来を目指しています。

母乳外来(完全予約制)

対象:当院で分娩し、母子同室した母子

日時:毎週金曜日(2枠)14:00~15:00、15:00~16:00

金額:3,000円

申込:直接3B病棟へ

上手な医療のかかり方

～11月は「みんなで医療を考える月間」です～

休日や夜間の「時間外受診」の増加が問題になっています。緊急性のない軽症患者による安易な受診は、一刻を争う重症患者への対応の遅れや医療従事者の過剰労働が発生してしまう恐れがあります。

誰もが安心して医療を受けるためには、一人一人のかかり方が大切です。受診の必要性や、適切な医療機関の選択を理解し、上手に医療にかかることができれば、大切な命を守り、医療を守ることに繋がります。

かかりつけ医をもちましょう

国では、医療体制を病気やけがの症状に応じて一次、二次、三次に区分しています。

■一次救急…軽症の患者に対する医療

■二次救急…入院や手術を必要とする重症患者に対応する医療

■三次救急…生命にかかわる重篤患者に対する高度先進医療や緊急性の高い医療

当院は、救命救急センターを有し、埼玉県南部医療圏内（川口市、戸田市、蕨市）で唯一、三次救急医療を担っています。こうした病院に、風邪など軽症の患者さんが集中すると、急病や大けがなど重篤な患者さんへの治療が手遅れになる事態も起こります。そこで、症状に応じた最適な治療ができるよう、地域の医療機関が役割を分担し、支えあう仕組みとなっています。

「かかりつけ医」とは、日頃から患者さんの健康状態や病歴を把握し、健康管理について気軽に相談できる身近なお医者さんです。精密検査や高度な専門的治療が必要な時は、適切な医療機関を紹介してくれます。身体に不調を感じたら、深刻な症状や医師からの指示がある場合などを除き、まず地域のクリニックなどかかりつけ医を受診するようにしましょう。

平日・日中の受診を心がけましょう

休日・夜間の時間外診療は、基本的に少数の緊急性の高い救急搬送患者のために設置されています。専門医がいないなど、平日の日中と異なる診療体制のため、十分な検査や処置が行えない可能性もあります。急な症状でなければ、平日の日中にかかりつけ医を受診してください。

救急のときは「#7119」に電話を

急なけがや体調不良で「救急車を呼ぶべきか」「病院へ行った方がいいか」など判断に迷ったら、救急安心センター「#7119」にお電話ください。医師や看護師等が適切なアドバイスを行います。限られた医療資源の一つである救急車の適正利用にご協力ください。

子どもの救急は「#8000」に電話を

休日・夜間に、子どもの具合が悪くなり、対応や受診の判断に迷ったときは、こども医療電話相談「#8000」にお電話ください。小児科医師や看護師から、症状に応じた対処方法や受診のアドバイスを受けることができます。

コロナ禍でも必要な受診を

新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から、過度に受診を控えることは、慢性疾患の症状悪化など健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

また、定期健診やがん検診を受けることが、生活習慣病の予防や、がんの早期発見につながります。赤ちゃんの予防接種や乳幼児健診もとても大切です。健康管理のため、必要な受診はしてください。

みなさんや家族がもしものとき、安心して医療を受けられ、そして医療が守られるよう「上手な医療のかかり方」を心がけましょう。

休日・夜間のこどもの症状は
こども医療電話相談
☎#8000

「救急車を呼ぶべきか」迷ったときは
救急安心センター
☎#7119

新型コロナウイルス感染防止対策に引き続きご協力をお願いします

当院では、面会の原則禁止やマスク着用及び手指消毒の徹底など新型コロナウイルス感染防止対策を今後も継続して実施しますので、ご協力をお願いします。

入館制限を行っています

入館できる方

- 当日の予約のある患者さん、紹介状をお持ちの患者さん、その付き添いの方（小児科、産科は予約なしで受診可）
- 当院から来院要請のあった方
- 当院で治療中の疾患の状態が悪化した方

入館をお断りしている方

- 当日予約のない方（診療時間外の救急外来含む）
- 院内のトイレやATM、売店のご利用など、診療に関係のない用事の方

入館時の発熱トリアージにご協力ください

- 予約の有無などご来院内容の確認
- 発熱、咳の有無など体の症状の確認
- 非接触型体温計での検温

※症状がある方、体温が37℃以上の方は、別室にご案内の上、問診を行います。

※熱がある（あった）方は、直ちに係員にお申し出ください。



医療機関の皆様へ

日頃より、当院に患者さんのご紹介をいただきありがとうございます。ご紹介患者さんに発熱の症状がある場合は、事前に当院にその旨をご連絡いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

マイナンバーカードが健康保険証に

当院では、事前登録したマイナンバーカードが保険証として使用できるようになりました。また、健康保険証は診察前の事前確認となりますので、ご協力ください。

※詳細及び保険証事前登録はこちら

（国のサイトが表示されます）



地域医療の 仕組み



専門的な治療や
特殊な検査

日常的な
診察



医療センター
(地域医療支援病院)

紹介 重症
治療後 紹介



お近くの診療所など
(かかりつけ医)



バス案内(国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)



ホームページ